愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	堀 篤実	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

保育職に求められる保護者支援についてどうあるべきかを考えます。現状を把握するとともに、保育者として保護者支援の即戦力となりうるための知識、技術についてまとめます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で授業を行います。授業内容に応じて、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワークを取り入れます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	構成的グループエンカウンターのエクササイズ（1）	エンカウンターにおけるエクササイズを実施し、夏休みの振り返りをする。	□
第2回	ピアヘルパーの心構え	ピアヘピングの技法を用いるときの心構えについて理解をする。	□
第3回	ヘルピング技術の上達法	ヘルピングの技法を向上させるために、ロールプレイやスーパービジョン、教育分析について学習する。	□
第4回	ピアヘルパーの活動許容範囲	ピアヘルパーの活動範囲やルールとそれに伴う責任や義務について学習する。	□
第5回	ピアヘルパーの留意点	ヘルピングがヘルパーの自己満足に終わらないよう、留意すべき点について学習する。	□
第6回	活動範囲（学業領域）	学生の悩みとして扱われることの多い学業領域の悩みについて聴く態度のポイントや対応策を学習する。	□
第7回	活動範囲（進路領域）	学生の悩みとして扱われることの多い進路領域の悩みについて聴く態度のポイントや対応策を学習する 。	□
第8回	活動範囲（友人領域）	学生の悩みとして扱われることの多い友人領域の悩みについて聴く態度のポイントや対応策を学習する。	□
第9回	活動範囲（グループ領域）	ピアヘルパーとして求められるグループリーダーとしての基礎知識について学習する。	□
第10回	活動範囲（関係修復領域）	人間関係の不和をやわらげる時の留意事項について学習する。	□
第11回	活動範囲（心理領域）	心理的な悩みに対し、カウンセラーとしてではなく、ピアヘルパーとして悩みを聴く態度のポイントや対応策を学習する。	□
第12回	構成的グループエンカウンターのエクササイズ（2）	エンカウンターにおけるエクササイズを実施し、ピアヘルピングの知識や技術の振り返りをする。	□
第13回	エクササイズとシェアリング	エクササイズやシェリングを体感することにより、ピアヘルピングの技術を習得する。	□
第14回	自他理解と自他受容	ピアヘルピングを通して自己理解・他者理解や自己受容・他者受容についての技術を習得する。	□
第15回	ピアヘルピングのまとめ	各自が状況に応じてピアヘルピングを実施していけるように学習したことについてまとめ発表する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各自が担当となった部分について授業前にまとめ、レジュメを作成してくる。キーワード、わからない単語について授業で説明できるようしてくる（２時間程度）。授業内でその日の内容に関するテーマが提示されるので、次回までにまとめてくる（２時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回最後に課題に取り組みます。次回、課題についてのフィードバックをします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	ピアヘルピングやグループエンカウンターの基礎知識を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	ピアヘルピングの知識や技術を応用させ、円滑なコミュニケーションを取るための問題点を考え実践できる。
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	日常生活の中で周囲の人に対しカウンセリングマインドを持った積極的なかかわりができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業に対する参加意欲・貢献度(60%）と課題（40%）に対して評価をします。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	日本教育カウンセラー協会編、ピアヘルパーハンドブック、図書文化	9784810013436
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		